

JAITI 35

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「財団法人日本農業研修協会の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの漢文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 財団法人 日本農業研修協会の
事務所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

ジャイチは小林理事長を中心とした新体制で、二年目を迎えました。昨年度は、資産の見直しを行い、財政基盤の強化に努めてまいりました。

ジャイチネパールの事業継続のため、理事長、常務理事、猪爪理事を現地に派遣し、現状を検証してまいりました。

◆ネパールの教育改革

ネパールにおいては、諸外国の教育制度に合わせて小学校を五年制から六年制へ、中・高等学校を五年制から六年制へ教育改革を行おうとしています。また教育内容もコンピューター等の導入を踏ろうとしています。しかしながらネパールの政情が王政から連邦共和制への変革期にあるため、この教育改革がいつから実施されるかは未定です。注目していきたいと思えます。もしこの改革が実施されますと、校舎の新規の建設、コンピューターの費用の捻出等、新たな財政負担が必要にならうかと思われま

◆カカニ地区の現状
カカニの実験研修農場は、

ラクバ農場長との賃貸借契約をしており来年六月に終了いたします。前号でも報告いたしましたですが、今後の課題となっております。また、昨年カカニ地区の篤農家ヘイチゴの苗を供給いたしました。その後の管理・普及状況については、六月に当財団として派遣した評議員の土屋重雄農業者

導員の「ネパール農業報告」に詳しく掲載いたします。
◆理事會、評議員會
三月開催の理事會、評議員會において、昨年度の補正予算、今年度の事業計画、予算案が承認されました。併せて理事會全員が再選され、新たに立岩寿一氏が理事に選任されました。また五月開催の理事會、評議員會において、昨年度の事業報告、決算案が承認されました。
◆ジャイチネパール
ジャイチネパールのアルジュン

ネパールの現況視察をして 理事長 小林 淳



▲バシファント学校で懐かしいウツタム君と再会。97年3月10日
Mr. Aisushi Kobayashi, the new chairperson of JAITI Japan paid an inspection visit of Nepal and conducted a meeting with JAITI Nepal staffs in February 2008. He interacted with the students at Basiphant School. Further, he interviewed also with SLC graduated, grown-up ex-students like Mr. Dawa Tashi Sherpa, Mr. Utam Thapa and other students of that school.

さる二月七日より八日間に亘り、ネパールの現況視察をして参りました。ジャイチネパール事務所にて社長のアルジュン・シン・トラチャンを始めスタッフの

各氏に面談、理事長就任の挨拶を致しました。そこで即刻会議を行いカカニ農場、バシファント学校、ブライター学校の現況説明を受け、今後の運営方針等につき協

議懇談をしました。
翌日より、バシファントとカカニの現地に赴き、農場と校舎教室の状況を視察後、教師の皆さんからの要望等を含めての懇談会を持ちました。また各教室を廻り授業を見学しました。
私は、一九九九年に観光視察でバシファント学校の授業を見学した際、強く印象付けられておりましたことは、児童生徒達が澄み切った瞳を黒板に向けていたことです。今回もその授業風景はすこしも変わっておりませんでした。
二〇〇〇年にダワ・タシ・シエルバ君、続いて翌年ウツタム・タバ君が長野県の引きに並び県立実業高校で学習

校は、本年度、新入生三二名を迎え、全学年が揃い、在校生二〇六名となりました。
◆新役員
理事 立岩 寿一
東京農業大学国際食料情報学部教授、東京農業大学大学院農業研究科農業経済学教授。
日本農業経済学会理事。
また地元では、平成一六年より特定非営利法人千年のまちづくり会会長を務める。
〔長野県小県郡長和町〕

しました。現在ダワ君は宿泊業にウツタム君は通訳に、この他にも学び育った母校で教職をとる卒業生、山間地ナムター村の自宅からネパール全国に放送する女性アナウンサーなど有能な卒業生を送り出しておりました。
第一期生の新入生を迎え入れてから十五年が経過し、識字率二五%と言われたマカワンプル郡ナムター村のバシファント地域に、教育の成果が現れつつあります。また地元住民の学校意識も高まりつつあり、地域への移管に向けて検討中ですが教育の質の低下とならないように取り組んで参りたいと思っております。

二〇〇五年に開校した同

私たち本庄東高校生徒と ジャイチの活動

第四十八期生徒会長
松崎 綾乃

みなさん、こんにちは。
私たちの本庄東高等学校は、埼玉県の北部に位置しています。

昨年(平成十九年)に創立六十周年をむかえ、大学進学率一〇三三校の合格と現役合格九六・四％に達する、私学の進学校として伝統を重めています。

特に、学校行事では二年生におけるカナダ修学旅行によって国際理解教育を養い、秋に行われる学園祭(きりぐるま祭)により、全校を上げてバザーを行っています。近年では、新潟県中越沖地震へ義援金を送っています。

そのバザーの義援金の一環といたしまして、ジャイチの活動精神に共感し、ネパールの学校の子供達を少しでも応援できればと始ま



▲本庄東高等学校の学園祭「きりぐるま祭」

On occasion of completion of 9th Year, the Students Association of Honjyou Higashi High school Japan, donating JAITI with one part of their income generated from conducting a bazaar in the school premises. We would like JAITI to use our token of goodwill in the school operation activities in abroad (President of Students Association)

た交流です。
平成十二年当時の生徒会長・村田聡(さとし)君が第三十二回きりぐるま祭のバザーの収益金の一部を送金したことから、今年で九年目になります。その年の生徒会により金額はさまざまですが先輩たちの気持ちは、生徒会の伝統として続いておられます。

また、ジャイチの方々からその都度、お礼のお手紙や近況などをいただき、毎年、心温まるお言葉に全校生徒・生徒会共ども感謝しております。

今年度、生徒会では、六十一一年目を迎え、さらなる大きな学園祭を計画しています。生徒会長が女性ということもあり、「やさしい学園祭」をテーマに頑張ろうとみんな団結しています。

最後に、国際感覚とバザーの義援金によるボランティアの精神が、ジャイチ海外の学校援助活動に、これからも寄与していければと考えております。今後支援活動などにも発展していければ幸いですので宜しくお願い申し上げます。

(埼玉県本庄市)

◆政情
四月十日、制憲議会選挙が実施され、五月二十八日の制憲議会により、一七六八年以来、四〇年続いたシャリー王朝が幕を閉じ、連邦共和国として誕生しました。

十二月議院内の七党連合と議会外のマオイストが和解し、国王の独裁にともに闘うことで合意しました。

◆生活
日本と同様に燃料代の高騰が庶民の生活を直撃しています。同時にネパール石油公社のインド石油会社への長年による支払い不履行が、輸入量制限と相まって、交通機関へ影響が深刻化させています。交通ゼネストがたびたび起こり、物価上昇を押し上げています。

ネパールの政治状況が大きく変化したのは、二〇〇一年六月一日の主要な王族が大半集まる宴会の席で機関銃が乱射され、国王、皇太子を含む十名の王族が殺害される事件が起きてからのことです。

二〇〇八年四月十日の制憲議会選挙の結果、マオイスト二二〇議席を獲得し第一党となり、ネパール会議派が百十議席、統一共産党が一〇三と王政廃止派の政党が多数を占め、王政支持派政党はごく少数に留まりました。

和制への移行を宣言し、国王もこれを受諾しました。現在、主要三党で大統領制を含む政権運営について、話し合いを進めています。混沌とした状態が続いています。

一九九〇年、絶対君主制から暫定的に立憲君主制へ移行しました。しかしながら封建的な土地制度は、そのまま残り、一九九六年、マオイスト(ネパール共産党毛沢東主義派)は、王政廃止と農地解放を目標に人民戦争を開始しました。

七党連合、ゼネストを呼びかけ、民主化運動が高まり、国王はついに直接統治断念しました。

▲2008年4月10日制憲選挙の投票風景
In the general election of April 2008, the Nepal Maoist Party elected as one the major party with highest percentage of votes in Nepal. The first meeting of constitutional assembly thereafter abolished the kingship government and declared Federal democratic republic on 28 May 2008.

二〇〇六年四月、七党連合、ゼネストを呼びかけ、民主化運動が高まり、国王はついに直接統治断念しました。

現在、主要三党で大統領制を含む政権運営について、話し合いを進めています。混沌とした状態が続いています。

◆生活
日本と同様に燃料代の高騰が庶民の生活を直撃しています。同時にネパール石油公社のインド石油会社への長年による支払い不履行が、輸入量制限と相まって、交通機関へ影響が深刻化させています。交通ゼネストがたびたび起こり、物価上昇を押し上げています。

◆政情
四月十日、制憲議会選挙が実施され、五月二十八日の制憲議会により、一七六八年以来、四〇年続いたシャリー王朝が幕を閉じ、連邦共和国として誕生しました。

十二月議院内の七党連合と議会外のマオイストが和解し、国王の独裁にともに闘うことで合意しました。

◆生活
日本と同様に燃料代の高騰が庶民の生活を直撃しています。同時にネパール石油公社のインド石油会社への長年による支払い不履行が、輸入量制限と相まって、交通機関へ影響が深刻化させています。交通ゼネストがたびたび起こり、物価上昇を押し上げています。

ネパール連邦 共和国の誕生



▲2008年4月10日制憲選挙の投票風景

In the general election of April 2008, the Nepal Maoist Party elected as one the major party with highest percentage of votes in Nepal. The first meeting of constitutional assembly thereafter abolished the kingship government and declared Federal democratic republic on 28 May 2008.

ネパール農業報告

(九月・十一月・十二月)

本年一、二月と六月に農業支援に行ってきた。近況をお知らせします。

◆ナムター村と近隣村

今までお知らせしていましたが、アブラナ科野菜のネコブ病対策が緊急の課題です。

キャベツについては①無病土での育苗・移植栽培で病菌接触期間短縮による実害の防止②石灰投与、土壌アルカリ化による発病軽減③土壌水分と発病との関連から排水対策④土壌中にネコブ病菌が残存する事から収穫物残渣の適正処理などにより難病害も現在では問題のないレベルに近づきつ

つあります。

大根も美濃早生系大根から青首系大根への転換を進めています。

アブラナ科以外の野菜への転作ではジャガイモですが、日本から代表的な品種男爵、アンデス、キタアカリの三品種を持ちこみました。前二品種は昨年からの試作で、本年は面積も増加、現地の品種より良いと見えています。

今回現地を確認しましたが、すべてのジャガイモが病害(疫病)のため早く枯れてしまい、小玉ジャガイモ生産の最大の原因と判断しました。来年は病害対策を考えます。

マメ類についてはインゲン豆、エンドウ豆は良くできます。販売単価も望めそ

うで来年は日本でよく作られている大粒の紅花インゲンの試作に取り組みます。

◆イチゴの増殖

連作障害や老化などから、昨年日本から新たにウイルスフリー苗を導入、増加と普及を目指しています。本年二月に苗の冷蔵処理を実施、六月には母株一株当たり三〇―五〇本の子苗が取れそうです。

ただ残念な事に子苗が大量に発生する事から畦巾、株間を充分にとるよう具体的に指示しておいたのですが「そんなに苗がとれる訳がない」と信用されず畦巾、株間がせまく、子苗を置く場所がないような状況で、指導のむずかしさを感じています。

◆カカニ農場

当面イチゴにかかわる野菜としてキャベツ、カリフラワー、大根、日本の菜類(小松菜、山東菜、野沢菜)枝豆スイートコーン、人参など栽培中です。六月に初めて確認しましたがカカニ地区のキャベツにも、ついにネコブ病が発生しました。

◆新しい取り組み

世界各国政府やNGO(非政府組織)が諸分野で数多くの支援活動を展開していますが、地方の治安の悪化、交通事情などから首都カト



▲小麦の収穫。竹べら2本で10本くらいの穂首をはさみ折りとる。



▲傳統につく口バの隊商。数百年にわたり交易を担ったが、ジョムソン街道に自動車道全通により早業トラックに代わっていくだろう。

New motorable road opened in Jomsom area. From now on, the trucks will gradually take place the hundreds of years transport trade on donkeys back.

マンドゥウ周辺に片よつていた事は否めません。

反政府武装組織であったネパール共産党毛沢東主義派(マオイスト)と和平協定が結ばれ、本年四月には総選挙も行われ国政の中根に参画、地方へ出れる環境が整ってきました。

ジャイチ・ネパールも地方での活動にとり組むべきだと言う考え方も六月にジャイチネパールのスタッフのK・Cさんと調査に行ってきました。

調査地はカトマンドゥウから西へ二〇〇kmほどのポカラの北、

アンナブルナヒマラヤとダウラギリヒマラヤ間のガリ、ガンダキ川沿いの大渓谷を六〇kmほどわけいっ

事業決算報告	
科目	(単位:円)
収入	
基本財産運用収入	6,557,940
特定資産運用収入	615,468
寄付金収入	3,364,679
財政金収入	1,314,600
雑収入	386,137
当期収入合計	12,238,824
前記繰越収支差額	15,268,639
支出	
農業技術者派遣事業	1,495,743
武石実習農場事業	14,866
基金事業	165,125
開発途上国の農業団体への助成事業	5,121,466
日本人職員による調査研究事業	101,400
奨学金甲斐事業	13,304
開発途上国の農業文化案内と	
視察観光教材貸出事業	314,833
機関誌発行事業	427,898
管理費	5,605,658
基本財産取得支出	9,171,246
特定資産取得支出	269,413
当期支出合計	22,090,962
当期収支差額	-10,452,068
次期繰越収支差額	4,816,571

たダウラギ県ムスタン郡の通称ジョムソン街道といわれる地域です。古くはチベットとインドを結ぶ交通の要衝として栄え、近年はアンナブルナトレッキングの銀座通りでポカラから十数日のトレッキングコースですが、本年六月にトラクターやジープなど通ることの出来る道が全通したことから、環境が整ったと言えます。

ツクチュ、コバン、ソウル、ナウリコットの四村を調査しましたが、リンゴ、大麦、そば、とうもろこしを中心の地域で道路が開通した事により、野菜栽培にシフトしたいという気持ちを持っています。今年、日本からそばと大根の種子を持ちこみ試作依頼してきました。さらに検討します。

農業指導員 土屋典重

事務局だより

▼ジャイチ

- 1月・理事協議会開催
・機関紙34号を発送(約1400通)
・土屋農産指導員が農産の指導でネパールへ出張
- 2月・藤本副部長(静岡県)が、パンファント学校10年生実習生観引受
・小林理事(長)・島田常務理事が総合指導でネパールへ出張
・20年度事業計画・予算案作成
- 3月・国際農林業協会の完了報告書提出
・佐田彦南中学校で島田常務理事が講演
・15日理事協議会開催
・29日理事・評議会開催(20年度事業計画・収支予算、19年度修正予算の審議・承認、理事、監事の選任)
- 4月・山田まゆみさんが(東京都)が、パンファント学校10年生実習生観引受
・法務局に理事変更の登記
・長野県に理事・監事異動届を提出
- 5月・25日理事・評議会開催(19年度事業・決算報告と承認・寄附行為変更)
・法務局に資産変更の登記
・長野県に19年度の事業報告及び寄附行為変更申請書提出
・機関紙35号企画会議
- 6月・長野県より寄附行為変更許可
・法務局に寄附行為変更登記
・長野県に資産変更届及び寄附行為変更届を提出
・土屋農産指導員が農産の指導でネパールへ出張(6/1～6/25)
・ネパールジャイチ社長アルジョン氏事務視察訪問
・機関紙編集作業

バナーをありがとうございます。 横津バナー

ジャイチネパール▼

- 1月・パンファント学校では地元のガリカ小学校との合併に向け、協議を行う。
・パンファント学校、カカニ・プライター学校両校にて定期試験を行う。
・1月～2月にかけ土屋農産専門家訪問。
- 2月・パンファント学校のカシドゥル校長が自己資金により退職、新任の校長にカドカ先生が就任。
・来年度のジャイチネパールの予算作成
・小林理事(長)、島田常務理事視察指導のため訪印。
- 3月・パンファント学校とカカニ・プライター学校では、進級テストを行いました。
・パンファント学校では、入学試験実施。
・SLC18名受験
- 4月・ネパール創設委員会選挙が行われ、マイリストが勝利となる。
・パンファント学校では、新入生60名を加え、生徒合計438名になる。
・カカニ・プライター学校では、入学試験実施。新入生32名を加え、(最終学年15年生となり)205名になる。
- 5月・ネパール創設委員会において、王制から連邦共和制への移行が決定され、240年続いた王制が廃止され、ネパール連邦共和国が誕生した。
・パンファント学校、カカニ・プライター学校、両校で開校記念を行う。
- 6月・土屋農産専門家訪問。
・SLC18名全員合格。

里親だより

藤原純子

「しけんがはじまります。いっしょうけんめいじゅんびしていきます。がつこうのまわりはしゃくなげがたくさんさいてとてもきれいです。」
近況と学校の様子の綴られたネパールからの初めての

手紙に感激してから三年余り、当時四年生だった生徒たちはこの春七年生となりました。送られてきた写真の中の顔立ちの、なんとおりしいこと！届く手紙には必ず、おかげで勉強が続けられます。感謝します。と書かれています。感謝したいのは私のほうです。応援させてくれてありがとうございます。

な気持ちでいっぱいです。お世話下さっているジャイチの方々にも感謝しています。遠いはずのネパールがとも近くに感じられてもいます。森の中のシャクナゲに囲まれた学校で学ぶ彼女らに会いに行ける日を楽しみにしています。
例えば、小清水YHの菊池ベアレント(当時)に紹介され、引き寄せられるよう



▲藤原純子さんのクラス(7年生)

Ms. Fujiwara Junko as one of foster parents, is supporting Class 7 of Basphant School. She is looking forward to receive a letter explaining recent states of the students.

にジャイチ事務所を訪ね、菊池健介氏に出会ってしまっただけが始まりでした。本当に現地の人に必要な援助は個人ではできないとさわ

やかに語る菊池氏。現地の文化を無視した与える援助ではなく、現地の文化を生かしながら必要な部分で考え方を根気強く変えていく。

◆お願い

・ネパールへの荷物運搬
ネパールへ渡られる時、ジャイチの荷物(主に文房具、カバンなど)を運んで下さい。
・物品のご寄付
肩掛けカバン用布(布地が丈夫な物)

◆物故者のお知らせ

支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載いたします。ご冥福をお祈りいたしますと共に、今までのご支援に対し感謝致します。
内田美代様
平成十八年四月(東京都)

・古切手・書き損じハガキ
収集しています。
切手の回りに五ミリの余白を残してください。寄付者欄にお名前を掲載させていただきますこととお礼とさせていただきます。
送付先→ジャイチ事務所
〒386-0502長野県上田市武石沖六〇五―五

赤坂俊雄様
平成十九年二月(岩手県)
渡辺三福様
平成十九年(北海道)
永島保生様
平成二十年四月(宮城県)
栗田三津雄様
平成二十年四月(愛知県)

カカニはネパール人によるネパール人のための農場。胸にストーンと落ちる言葉でした。
教育が大切なことはいうまでもなく、
これからのネパールを支える子供たち、頑張れ！
(愛知県名古屋市)

◆お知らせ

左記出版予定しています。
・グローバルフェスタ
十月四日(日)比谷公園
・国際交流フェスティバル in 丸子
十月五日(丸子文化会館)

◆編集後記

ネパール国の雄断である、王制が廃止され議会制になった。マイリストたちが第一党になったのだから過激な言動は慎み、真に国や国民のことを考えて新たな国づくりをめざしてほしい。坂本竜馬のような志の高いリーダーが必要だ。

ところで、日本人も大きく考え方を転換する時が来た。エネルギー、食糧、二酸化炭素、環境に不可をかける。粗食にスローライフか。化石エネルギーを使う以前の生活には戻れないだろうが、参考にして生きたいものだ。
(編)